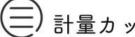
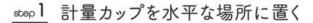
課題

課題発見

飲食店でのアルバイトの際、計量カップにいくつかの課題を発見した。



計量カップ使用の手順



step 2 目の位置を目盛り線の高さに合わせる

<u>step 3</u> 目盛り線に合わせて量を調整する



課題



量の調整に時間がかかる

提供スピードの重視される飲食店において この課題は非常に大きな問題である

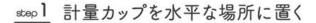
解決手段

課題発見

飲食店でのアルバイトの際、計量カップにいくつかの課題を発見した。



計量カップ使用の手順



目の位置を目盛り線の高さに合わせる

目盛り線に合わせて量を調整する



課題

量の調整に時間がかかる

提供スピードの重視される飲食店において この課題は非常に大きな問題である



解決策



全ての手順の統合

手に計量カップを持ったまま計りたいものを入れ、 その位置のまま目盛り線に合わせて量を調整する

先行意匠調査

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を使用し、先行意匠調査を行った。 調査の結果、登録番号 1556132 のライスカップと計り方として近い方法 をとっていたが、複数本目盛りが入っている点で異なり、また、登録番号 1493654 の計量カップと内側に目盛りをとる点で類似していたが、斜め 方向の目盛り線がプリントされているというで異なっていると判断した。

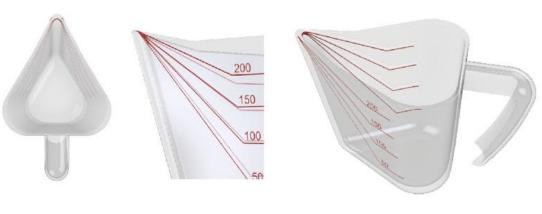
^{令和4歳} 元ザインパテントコンテスト

受賞作品

捨てて計る計量カップ

内容物を捨てる動作により量を調整する計量カップ





「入れる」動作ではなく、「捨てる(戻す)」動作によって内容物の量を調整する計量カップであり、 水平な位置に置き、目の高さを揃え、量を調整するという3つの手順を一度に行うことができる。